



ゆのはな

第29号
2025年1月

すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現



秋の大運動会開催！



回復期リハ病棟アンケート調査



BLS研修<看護・介護部>



第1回 家族教室開催



運動会

回復期リハビリテーション病棟 秋の大運動会



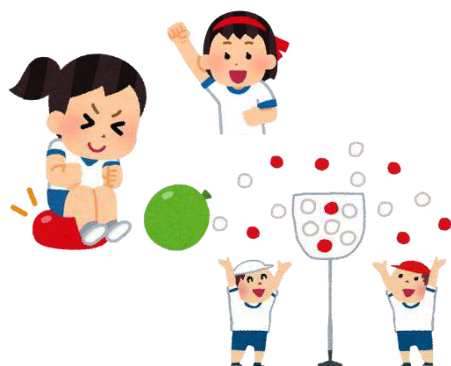
今年も「秋の大運動会」を開催しました。四季折々のイベントを患者様に提供することで余暇時間の充実と同時に入院生活の中で楽しみを感じていただけるように、スタッフ一同で準備しました。



風船をうちわでパタパタ みんな協力して！赤勝て！白勝て！



それっ～いけえ～やった～玉がくつつくたびに歓声も高らかに



皆さんの頑張りに負けずと、職員もハッスルハッスル～

個別に競技に参加できるように競技内容や、みんなで協力し合う団体競技を取り入れて、大いに盛り上がりました。普段とは違う患者様の笑顔や隠れた身体能力を発揮できる時間となりました。今後も、季節を感じ楽しめるイベントを提供できるように工夫してまいります。

BLS研修 (Basic Life Support : 一次救命処置)

当センターでは、緊急時にいつでもどこでも対応できるように、定期的に職員に向けた救急対応の研修を行っています。頭で理解しているだけでは、いざというときに直ぐに行動に移すことは難しいと言われていいます。そのため日頃からのトレーニング

と日々のイメージトレーニングが重要です。皆さんの身の回りでも緊急事態が発生する可能性があります。職場やお店などの生活場面の緊急時に備えて、初期対応の心得やAED設置場所について把握しておきましょう。



緊急時の手順について再確認



胸骨圧迫時の姿勢は重要です



胸骨圧迫部位は胸骨の下半分



AEDに記載された手順に従う



電極パッドを貼る位置の確認



音声ガイドに従いボタンを押す

入院生活に関するアンケート調査結果

調査協力者数: 98名(調査期間2024/9/18~2024/12/09)

職員の対応(令和5年度)

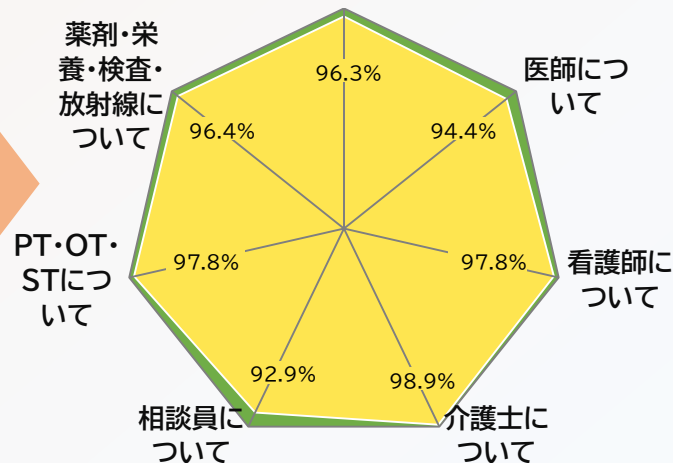
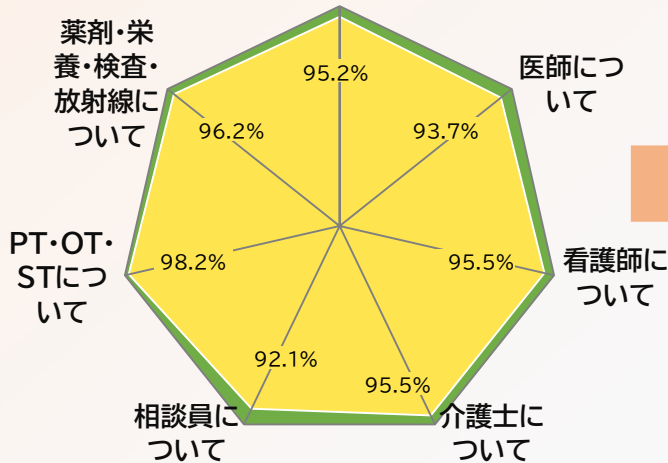
職員の対応(令和6年度)



総合満足度

総合満足度

■ 満足 ■ 不満



回復期リハビリテーション病棟では、「入院生活に関するアンケート調査」を実施しています。令和5年度までは一定の期間を定めて調査を実施していましたが、本年度からは年間を通じた調査を実施しています。

皆様からお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、患者様やご家族とのふれあい・思いやりの心を大切にしながら、環境整備、サービスの向上・改善に取り組んでまいります。

家族教室の取り組み

～ 退院後の生活支援に向けて～

2024年9月7日土曜日の午前中に、別府リハビリテーションセンター本館研修室において第1回家族教室を開催しました。開催内容は「らくらく介助～今すぐ実践できる～」介助方法、福祉用具の使い方と題して、リハビリテーション部の理学療法士がお話しました。

前半はスライドを用いて「介護保険制度について」「申請から認定の流れ」「介護認定とは」「利用できる資源・サービスについて」「貸与対象となる福祉用具について」説明し、次に介護場面で遭遇する「腰痛について」その種類やなり易い時間、具体的な内容「腰痛予防」について実際に身体を動かして体感しながら「介助の際の注意点」や「腰椎体操」などをおこないました。

介護保険制度ってなに？

市区町村が保険者となって運営。下記加入者が、被保険者(加入者)として保険料を負担し、介護や支援が必要と認定された際に、費用の一部を負担してサービスを利用します。

加入者	サービスを利用できる方	保険料の支払い
65歳以上の方 (第1号被保険者)	原因に関わらず 障がいや認知症などにより 介護が必要な方	原則、年金からの天引き
40～64歳の 医療保険加入者 (第2号被保険者)	老化が原因とされる病気 (特定疾病 下記参照)により、 介護が必要な方	加入している医療保険に 上乗せして一括して納める

(特定疾病)
脳血管疾患、がん、脊髄管狭窄症、初老期における認知症、骨折を伴う骨粗鬆症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病など

利用できるサービス(一部を紹介)

通所リハビリテーション (デイケア) 目標や相談 室に違い、リハ ビリテーション を受けます	福祉用具貸与 日常生活の自立 を助けるために、 福祉用具の貸与 が受けられます	訪問リハビリテーション 専門職が自宅訪問し、 リハビリテーションを 行います
通所介護 (デイサービス) 通所介護施設で、 食事、入浴などの 日常生活支援や機 能訓練を受けま す	訪問介護 (介護ヘルパー) ヘルパーが自宅訪 問し、入浴・食事・ 食事の世話等の身 体介護や調理・洗 濯などの生活補助 を受けられます	訪問看護 看護師が自宅訪 問し、療養上の世 話や診療の補助 を受けます
		住宅改修費の支給 指定された住宅 改修費用の半額 が支給されます

*介護保険制度改正により、予防給付の一部が、市区町村事業である介護予防・日常生活支援総合事業へ移行しつづめる



前半は講師による講義



後半は介助のコツなど、道具を用いて体験していただきました。



当センターでは患者、家族支援を目的として「家族教室」を定期的に開催しています。内容は病気・怪我について、また実際の介助のコツなど様々です。どなたでもご参加可能です。興味をもたれた方は是非気軽にご参加下さい。



次回家族教室開催のお知らせ

日時: 令和7年2月8日(土)

時間: 10:30～12:00

〔内容〕 ○入院中に知っておきたい便利なサービス
○自宅でできるかんたんリハビリ

〔問合せ〕 beppuriha30@gmail.com 家族教室担当者まで



社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

日本医療機能評価機構認定病院 / 日本リハビリテーション医学会認定研修施設

